

明日へ飛躍する企業をサポート

ひょうご産業
活性化センター
通信

2023

1

Jan

JUMP



CONTENTS

- 02 新年あいさつ
- 03 年頭所感
- 06 ひょうごビジネス・インフォメーション
- 08 がんばる企業を応援
- 09 成長期待企業のイチオシ!
- 10 信用保証協会 NEWS
- 11 TAX & LAW



元気企業訪問

アサヒ物産(株)

海外展開支援助成金を活用して

兵庫県知事

齋藤元彦



躍動する兵庫、新時代への挑戦

新年あけましておめでとうございます。

新型コロナウイルス感染症が広がりを見せてから3年が経過しました。これまでの経験と教訓を活かしながら、感染防止対策と社会経済活動を両立させるウィズコロナの時代に入ったと言えるでしょう。一方、混迷するウクライナ情勢等を背景にした物価高騰や円安が、私たちの暮らしに大きな影響を及ぼしています。

こうした変化の大きな時代だからこそ、受身になることなく、新たな挑戦を起こすことが大切ではないでしょうか。令和5年は「躍動する兵庫」の実現に向け、果敢にチャレンジする年にしたいと思います。

その一つは、新たな産業活力の創出です。中小企業やスタートアップが持っている既存の技術と地域課題とのマッチングを広げ、新たなイノベーションを生み出します。また、水素エネルギーの活用や中小企業のCO₂排出量削減の支援強化など、脱炭素社会に向けた取組を加速させます。ドローンや空飛ぶクルマなどの次世代モビリティの社会実装にも挑みます。

また、兵庫が関西と瀬戸内の結節点にあるという好立地を活かし、両エリアをつなぐ大交流圏の

形成をめざします。大阪・関西万博が開催される2025年には、瀬戸内国際芸術祭も開催される予定です。県内各地をパビリオンに見立てて誘客する「フィールドパビリオン」を核に、関西圏域とは万博に関連した連携事業を、瀬戸内圏域とは芸術・文化等をテーマにした連携事業を行えるよう、着実に準備を進めていきます。

若者の学びの場も充実させます。県立高校等において、魅力・特色あるカリキュラムの充実やICT化を進めることに加え、生徒ファーストの視点で、老朽化が進む学校の施設・設備や部活動の用具・備品等を改善します。中高生からのアントレプレナーシップ（起業家精神）教育も推進し、課題解決に主体的に取り組む力を伸ばします。

県政の推進にあたって、今年ももっとも大切にする姿勢は、現場主義の徹底と対話の重視です。私自身、引き続き積極的に県内各地域に足を運び、医療や交通、観光、教育など様々な課題について県民の皆さまと対話をし、施策につなげていきます。

皆さまのご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

年頭にあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。皆様には、平素よりひょうご産業活性化センターにご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、本県経済を取り巻く情勢は、引き続き不確実性がきわめて高く、海外の経済・物価動向、今後のウクライナ情勢の展開や資源価格の動向、内外の感染症の動向やその影響など、いずれも予断を許さない状況にあります。このような中、経営者の皆様とともにこの困難な局面を乗り越えるべく、次の3つの分野を中心に事業活動を進めてまいります。

一点目は、『創業・連携の支援』です。

スタートアップ企業の創出に向け、①独創的なビジネスプランに基づく新事業立ち上げを支援し、県内での起業を促進するほか、②情報提供・相談の実施やワーキングスペースを提供し、起業家のステップアップにつなげる拠点施設「起業プラザひょうご」の運営、③「ひょうご神戸スタートアップファンド」による投資案件の発掘など、フェーズに応じた支援を行います。また、④発注企業を開拓し、県内受注企業とのマッチングを図る商談会の開催や、⑤異業種交流を進めるグループへの支援による新たなビジネスシーズの育成、⑥中小企業者と農林漁業者の連携による地域の資源を活用した新商品・新サービスの開発への支援など、中小企業者間の連携による販路開拓やマーケットインの視点からの商品開発を促進します。

二点目は、『経営強化の支援』です。

経営者の皆様が抱える様々な課題の解決を目指し、①経営相談の総合窓口「よろず支援拠点」のスタッフが共に考え、複数の専門家や支援機関とチームを組んでサポートするほか、②企業ニーズに応じた専門人材を確保し、マッチングを図る「専門人材相談センター」の運営、③ものづくり企業のDX化に向けた専門家派遣やAI・IoTツールの展示相談会の開催、④小売商業については、商店街への新規出店や店舗の事業承継を支援します。

また、⑤成長期待企業の発掘・育成支援や、環境が変化しても持続可能な経営を実践するプラチナ成長企業の創出、⑥SDGsの目標達成に向けて取り組む企業の支援など、現場視点でサポートを行います。そのほか、⑦企業が導入する設備をセンターが代わって購入し、長期かつ固定の低金利で貸与する制度の運用により中小企業の設備投資も支援します。

三点目は、『企業立地促進と海外展開支援』です。

県内に進出を検討している国内外企業の立地に向け、①「ひょうご・神戸投資サポートセンター」において、企業訪問や展示会への出展を通じた産業用地等の情報提供による誘致活動を展開し、地域産業の発展へと繋がります。また、企業の海外展開を支援するため、②「ひょうご海外ビジネスセンター」を設置。ジェトロ神戸、神戸市海外ビジネスセンターと一体となり、ワンフロアで「ひょうご・神戸国際ビジネススクエア」を形成し、企業からの相談に対応するほか、海外展開に関する調査等への支援やセミナーを通じた最新情報の発信などに取り組みます。

ひょうご産業活性化センターは、挑戦する経営者の応援団として、“中小企業支援ネットひょうご”の関係機関と連携し、異なる視点から「気づき」の機会を提供することに意を用い、困難な局面をチャンスに変え、さらに一段と高みを目指せるよう皆様とともに取り組んでまいります。経営者の皆様には当センターの支援事業を一層ご活用いただくことを、また、関係機関の皆様には引き続きお力添えを賜りますよう、お願い申し上げます。

本年が皆様にとって、希望にあふれ、着実に歩みを進める年になりますよう、心よりお祈り申し上げます。

公益財団法人 ひょうご産業活性化センター
理事長 谷口 賢行



アサヒ物産(株) 加古川市



社長
大西 能久

海外展開支援助成金を
活用して

- 台湾の展示会に出展できた
- 海外進出に際しアドバイスを得た
- 現地食品商社とコネクションができた



台湾でヒットしたクロワッサン鯛焼き

クロワッサン鯛焼きが 台湾のファストフード店でヒット

海外進出には独自製品が必要

同社が製造するクロワッサン鯛焼き「果香音^{かかお}」は、生地を練って、延ばして、重ねてを3日間繰り返して、27層になった皮が最大の特長です。食べる前にオーブンで焼くことでサクサク感が増し、国内では大手コンビニの首都圏店舗で定番商品になるなど、全国のコンビニ、スーパーへと販路を広げています。

大西能久社長は22歳の時に飲料の自動販売機ベンダーとして創業。大手飲料メーカーとの信頼関係を築きながら、3次卸、特約店（2次卸）と段階的に上流へ進出し、アサヒ飲料では県内の扱い量がトップになるまで成長しました。

しかし、得意先の小売店が大手量販店に押され、そこに少子高齢化も加わって、事業が先細りするのは目に見えていました。大西社長が次に狙ったのは、海外市場の開拓と製造部門への進出でした。海外市場については台湾や米国を中心に飲料の輸出を増やしていったものの、「差別化できない商品のためどうしても価格競争に陥ってしまう」ことから、独自製品を持つ重要性をさらに痛感します。

コロナ禍の出展で注目を集める

ちょうどその頃、仕入れ先の岡山の会社から菓子製造部門を売却したいと打診を受け、2019年12月に事業譲受を決断。その看板商品がクロワッサン鯛焼きでした。直後にコロナ禍に見舞われますが、果敢に台湾での販路拡大に着手。ひょうご海外ビジネスセンターの海外展開支援助成金を活用し、2020年12月の「FOOD TAIPEI 2020」への出展を決めました。「助成金を活用できたことで背中を押され、担当者から受けた海外進出のアドバイスもありがたかった」と大西社長。

台湾に出向いたのは新卒初採用の男性社員でした。コロナ禍で計4週間のホテル隔離が義務付けられた時期でもあり、例年多くの日本企業が出展するところ、同年はわずか2社でした。それだけに現地では歓待され、クロワッサン鯛焼きが台湾モスバーガーの目に止まりました。商談が成立し、冬季限定商品としての採用が決定。オーブンで温めてから提供する方法も好評で、瞬く間にヒット商品に。今季はつぶあん、カスタードに、新たにチョコもラインアップに加わって継続販売が決まっています。

現地のスーパーやコンビニとも商談は進んだものの値

制度利用までの流れ

2020年6月

ひょうご海外ビジネスセンターに助成金を申請

7月

審査を通過し採択される

12月

展示会「FOOD TAIPEI 2020」に出展

2021年1月

助成金報告書を提出



岡山工場の生産ライン



「FOOD TAIPEI 2020」に初出展

段が合わず断念した一方、現地最大の日本食品輸入商社とつながり、現在も密に情報を交換しているとのこと。「メーカーとしての強みと、長年の卸業で培った国内外の販路を生かし、さらに商品ラインアップを増やして輸出に注力していきたい」と話します。

アサヒ物産株

加古川市西神吉町岸134-3 T 079-431-9669

H <https://www.maido-asahi.com>

●代表取締役／大西能久

●事業内容／自動販売機、食品製造・卸

海外展開支援助成金

県内中小企業等の海外渡航や越境ECなどを伴う海外ビジネス展開への取り組みに対し、費用の一部を助成します。

【対象者】県内の中小企業など

【対象事業】海外見本市出展や現地商談等による販路拡大、営業拠点や製造拠点、生産委託先等に係る現地調査、ポストコロナ海外新展開に係る現地調査、越境ECモール出店や越境ECサイト開設による販路開拓

【助成率】対象経費の1/2以内

【助成額】上限100万円(越境ECは同50万円)

利用メリット

- 国、県、市が一体となるワンストップ支援窓口として、助成事業に対しきめ細やかにアドバイスし、その効果的な実施をサポートします
- 現地情報の収集等において、世界8カ国11カ所に設置する「ひょうご国際ビジネスサポートデスク」や兵庫県が設置する海外事務所も活用できます

問 ひょうご海外ビジネスセンター

T 078-271-8402

制度の詳細についてはホームページをご覧ください



だけ

あなたの本を

「オーダーメイド」

<https://kobe-selfpub.jp>
 KOBE 自費出版 web
 こちらから

自費出版

見積り無料

まずは電話かメールでお問合せください

TEL. 078-362-7140

✉ jihishuppan-kpc@kobe-np.co.jp

神戸新聞総合出版センター

株式会社 神戸新聞総合印刷

〒650-0044 神戸市中央区東川崎町1-5-7



ひょうご ビジネス・ インフォメーション

ひょうご産業活性化センター

「ひょうご産業SDGs推進宣言事業」 登録企業の募集

中小企業等のSDGsへの取り組み内容を「宣言」として登録・集約し、広く社会に公表することで活動を支援します。

対既にSDGsの取り組みを実施・公表している県内の中小企業や産地組合、業界団体(その他要件あり)

●登録企業のメリット

- 登録証が交付されます
- 当センターのホームページで企業概要や取り組み内容が紹介されます
- 専用ロゴマークを使用できます
- SDGsの推進に当たり、専門家派遣による経営支援を受けられます(費用の1/2負担、最多8回まで)
- 兵庫県信用保証協会の保証料率の割引を受けられます
- 登録期間＝登録日から2025年3月31日まで

申問 成長支援課

T 078-977-9117

1月10日④～31日④に電子申請フォームから
(ホームページから申請画面へ進んでください)



メールマガジン 登録受け付け中

セミナーや各種行政情報などを無料配信します。

申 e-mlhedDB@xpressmail.jpまたは二次元
バーコード宛に空メールを送信→30分以内に
届く登録用メールに記載のURLをクリックし必
要事項を入力

問 企画管理課 **T** 078-977-9070



関係機関

NIRO (新産業創造研究機構) 「ロボット活用基礎講座」

主に産業用ロボットの導入を検討している製造企業の技術者を対象に、ロボットや周辺機器の基礎知識を解説します。無料。

日 日時 **所** 場所 **対** 対象 **定** 定員 **¥** 料金
申 申し込み先・方法 **問** 問い合わせ先
T 電話番号 **F** ファクス番号 **E** Eメール

日 1月24日④・25日④ 9時30分～16時30分(2日連続)

所 県立神戸高等技術専門学院(神戸市西区)

定 12人(先着)

申問 (公財)新産業創造研究機構

T 078-306-6801

1月11日④までにホームページの申し込み
フォームから



ひょうご仕事と生活センター「ひょうご仕事 と生活の調和推進」認定企業の募集

「仕事と生活の調和」の実現に取り組んでいる企業や団体等を認定し、活動の継続を支援します。

対 県内に本社または事業所があり、同センターの「仕事と生活の調和推進企業宣言」に登録している企業、団体等(その他要件あり)

●認定企業のメリット

- 県と同センターのホームページ等で取り組み内容が紹介されます
- 名刺等に認定企業ロゴマークを使用できます
- 求人の際に「認定企業」と記載することで優秀な人材確保につながります
- 県と連携協定を結ぶ金融機関等で優遇金利での融資等を受けられます

申問 ひょうご仕事と生活センター(兵庫県勤労福祉協会内)

〒650-0011 神戸市中央区下山手通6-3-28

兵庫県中央労働センター1階

T 078-381-5277

1月20日④までに所定の申請書等を郵送または
持参してください。申請書等はダウンロードでき
ます



兵庫工業会 「DX人材育成リカレント教育研修」

関西学院大学と日本IBM(株)が開発した「AI活用人材育成プログラム」を使って、DX(デジタルトランスフォーメーション)の基礎を体系的に学びます。eラーニング講座、4コースの中から選択。

●コース

- ① AI活用入門
- ② AI活用アプリケーションデザイン入門
- ③ AI活用データサイエンス入門

④AI活用機械学習プログラミング演習

※各コース14テーマ・約20時間

¥①～③1人2万2,000円④1人2万5,300円

※アンケートに回答すれば兵庫県から1万1,000円を補助します

申問(公社)兵庫工業会

T078-361-5667

Eiuchi@hyogo-ia.or.jp(担当:井内)

1月13日金までに所定の申込書をメール送信(添付ファイル)してください。申込書はダウンロードできます



尼崎商工会議所「採用力強化セミナー コロナ禍・アフターコロナの採用市場を攻略！」

コロナ禍を機に大きく変わりつつある採用市場を深掘りし、多様化する採用方法を生かすためのノウハウを紹介します。無料。

日1月18日水・24日火14時～16時(全2日)

※24日は16時～17時に個別相談会を開催(要予約)

所 尼崎商工会議所

対 経営者、人事採用担当者

●講師＝島谷太さん(株ライン代表取締役)

定20人(先着)

申問 尼崎商工会議所

T06-6411-2254 F06-6413-1156

1月13日金までにホームページの申し込みフォームまたは所定の申込書をファクスしてください。申込書はダウンロードできます



文具の富士商会

神戸市中央区琴ノ緒町4丁目1-281

TEL.(221)7178代表 FAX.(221)6974

オープンコース
令和4年度1月～2月

生産性向上支援訓練のご案内！

コース番号	コース名	日程	申込締切日	受講料(税込)/人	会場	定員	推奨対象者
M-28	SNSを活用した相談・助言・指導	1/27(金)	1/13(金)	3,300円	①	15	主に45歳以上の中堅・ベテラン従業員
D-13	ビジネスとSDGs(持続可能な開発目標)の融合	1/27(金)	1/13(金)	3,300円	③	10	中堅層・管理者層
M-29	経験を活かした職場の安全確保(未然防止編)	1/30(月)	1/16(月)	3,300円	①	15	主に45歳以上の中堅・ベテラン従業員
M-30	中堅・ベテラン従業員のためのキャリア形成	2/10(金)	1/27(金)	3,300円	②	15	主に45歳以上の中堅・ベテラン従業員
D-14	マーケティング志向の営業活動の分析と改善	2/15(水)	2/1(水)	3,300円	①	15	中堅層
M-31	クラウドを活用したノウハウの蓄積と共有	2/17(金)	2/3(金)	3,300円	①	15	主に45歳以上の中堅・ベテラン従業員
D-15	流通システム設計	2/22(水)	2/8(水)	3,300円	③	10	中堅層
M-32	経験を活かした職場の安全確保(対策編)	2/27(月)	2/13(月)	3,300円	①	15	主に45歳以上の中堅・ベテラン従業員

会場(※開催時間9:30～16:30)

- ①ポリテクセンター兵庫
(〒661-0045 尼崎市武庫豊町3-1-50)
- ②ポリテクセンター加古川
(〒675-0051 加古川市東神吉町升田1688-1)
- ③港湾短大神戸校
(〒650-0045 神戸市中央区港島8-11-4)

申込締切は開催日の2週間前、キャンセルの受付締切は開催日の1週間前です。

※定員になり次第、締め切りとなります。原則、最少開講人数は6名です。

※ホームページにあります受講申込書に必要項目を記入の上、メールまたはFAXにて申し込みください。事業主からの指示による申し込みに限ります。

※企業の課題に応じた訓練の実施等を検討される場合は別途ご相談ください。

独立行政法人
高齢・障害・求職者雇用支援機構兵庫支部
ポリテクセンター兵庫 生産性センター業務課
〒661-0045 尼崎市武庫豊町3-1-50
TEL:06-6431-8205 FAX:06-6431-7285
メール:hyogo-seisan@jeed.go.jp

ポリテクセンター兵庫





がんばる企業を応援

「中小企業支援ネットひょうご」構成機関からのご案内

「中小企業支援ネットひょうご」とは

さまざまな経営課題を抱える中小企業の応援を目的に、中小企業支援機関や連携団体でつくるネットワークです。各機関の強みを生かしながら、総合的な支援を展開しています。

勤労者福祉を新たなステージへ (公財)兵庫県勤労福祉協会

兵庫県勤労福祉協会は、勤労者とその家族の健康や福祉の増進、企業の労働生産性の向上に貢献することを目的に1964年に設立されました。近年は、福利厚生制度「ひょうごファミリーパック」の充実と、「ひょうご仕事と生活センター」による仕事と生活のバランス(WLB)の推進に力を入れています。

ひょうごファミリーパック

中小企業向けの「地域密着型」福利厚生制度として、1社単独では実施困難な大企業並みの福利厚生を提供しています。

福利厚生

宿泊・レジャー施設や飲食店等の提携店での会員割引や利用補助をはじめ、暮らしに役立つ多彩なサービスを提供します。



給付

結婚や入学等の祝い金、見舞金・弔慰金、勤続報奨金、退職金など、会員とその家族のライフステージに応じた12種類の給付金を支給します。

融資

県内に本・支店を置く14の指定金融機関と連携し、急な生活費や自動車購入費、住宅資金等に利用しやすい低利融資を斡旋します。

健康管理

会員と配偶者を対象にインフルエンザの予防接種、人間ドックまたは脳ドックの補助を実施します。

会費 勤労者1人につき2カ月ごとに1,000円

※事業所が負担した場合、税法上損金または必要経費扱いになるので節税対策にもなります

ひょうご仕事と生活センター

「仕事と生活の調和」の取り組みを全県的に推進する拠点として、県内企業・団体のWLBの実現を目指し、さまざまな支援を全て無料で実施しています。



オリジナルキャラクター「WLB7」のペンギン

ワンストップ相談

WLBに関する相談や質問を面談、電話、メールで受け付けています。

コーディネーター等によるサポート

コーディネーターやコンサルタントが企業を訪問し、最適なサポートを実施。例えば、外部専門家を講師に招いてWLB推進に関する社内研修を開催します。

テレワーク・ICT相談

テレワークシステムの構築など、働き方改革の一環としてICT活用の相談に応じます。

合同企業説明会・企業魅力発信フェア

兵庫県と共催で就活生向けに、WLB表彰企業が参加する「合同企業説明会」や「企業魅力発信フェア」を開催しています。

WLB推進の助成金

次の助成制度を設けています。詳しくはホームページをご覧ください。

- 育児・介護代替要員確保支援助成金
- 環境整備支援助成金
- テレワーク導入支援助成金

(公財)兵庫県勤労福祉協会

神戸市中央区下山手通6-3-28 兵庫県中央労働センター1階

☎078-341-1510 🌐<https://kinrou-hyogo.jp>

ファミリーパック



仕事と生活センター





成長期待企業の イキオシ!

成長期待企業とは

中小企業支援ネットひょうごでは、さらなる成長が見込める企業を「成長期待企業」に選定し、複合的な支援をしています。このコーナーでは選定企業が誇る自慢の商品やサービスを紹介します。



同社が発掘した菓子の例



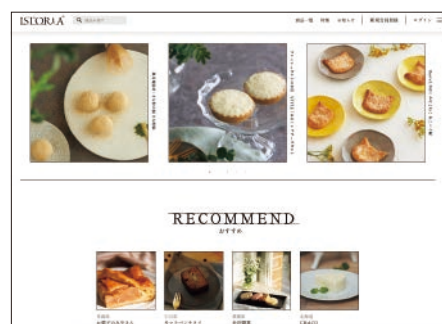
(株)トップ食品の

菓子卸

地方の菓子メーカーを後押しし 小売店ルートに乗せる

同社が直接取引する全国の菓子メーカーは約1,300社に及びます。その多くは地方で愛されている商品です。「メーカーとじっくり話をし、味だけでなく、パッケージや歴史、志、新規性などで選んでいます」と森謙二営業本部長。

1985年の創業時から地元の生協と取引があり、当初はバウムクーヘンなどの半生菓子を卸していました。全国のこだわりを持つ菓子メーカーと積極的に取引を進めるようになってからは、生協宅配での取り扱いも増え、毎週発行される宅配カタログに同社が卸す地方菓子やスイーツが数多く掲載されています。



「ISTORIA」のトップ画面

安心・安全が求められる生協基準に合致できるようメーカーに対して衛生管理のアドバイスをしたり、賞味期限の短い菓子については冷凍商品にするなどの提案を行ったりしています。そのかいもあり、発掘した商品からヒット商品へ育ったものも数多くあります。

2020年にはメーカーとバイヤーを直接つなぐオンラインサイト「ISTORIA^{イストリア}」を開設。メーカーとバイヤーのマッチング機会を増やすとともに、メーカー向けにコンサルティング機能を強化し、菓子業界の底上げに貢献しようとしています。

(株)トップ食品 尼崎市南武庫之荘1-23-8
☎06-6438-0001 🌐<https://topshokuhin.com>

●設立年:1985年 ●代表取締役社長:藤本拓郎
●事業内容:菓子卸

経営者保証を不要とする保証のご案内



一定の要件を
満たせば
**経営者保証が
不要!**

兵庫県信用保証協会では、思い切った設備投資や早期の事業再生、円滑な事業承継を図るため、経営者保証を不要とする保証を推進しています。以下は、経営者保証が不要となる要件や対象となる保証制度です。ぜひ、ご活用ください。

金融機関との連携により経営者保証を不要とする取り扱い【金融機関連携型】

●資格要件：申込金融機関において、①②のいずれかに該当し、かつ③を満たす場合

要件	内容
①	経営者保証を不要とし、かつ保全がないプロパー融資の残高がある
②	保証付融資と同時に経営者保証を不要とし、かつ保全がないプロパー融資を実行する
③	①②全てに該当する ①直近2期の決算期において減価償却前経常利益が連続して赤字でない ②直近の決算期において債務超過でない

●対象となる保証制度：全ての保証制度

一定の財務要件を備えた経営者保証不要の保証制度【財務型】

●資格要件：申込直前期の決算において、基準(a)～(c)のいずれかに該当している場合

※ただし、②③についてはそれぞれの項目に対し、いずれか1項目を充足する必要があります

項目	基準(a)	基準(b)	基準(c)
① 純資産額	5,000万円以上3億円未満	3億円以上5億円未満	5億円以上
② 自己資本比率	20%以上	20%以上	15%以上
② 純資産倍率	2.0倍以上	1.5倍以上	1.5倍以上
③ 使用総資本事業利益率	10%以上	10%以上	5%以上
③ インタレスト・カバレッジ・レシオ	2.0倍以上	1.5倍以上	1.0倍以上

注) 自己資本比率(%) = 純資産額 ÷ (純資産額 + 負債の額) × 100

純資産倍率 = 純資産額 ÷ 資本金

使用総資本事業利益率(%) = (営業利益 + 受取利息・受取配当金) ÷ 資産の額 × 100

インタレスト・カバレッジ・レシオ = (営業利益 + 受取利息・受取配当金) ÷ (支払利息 + 割引料)

●対象となる保証制度：「財務要件型無保証人保証」

十分な保全により経営者保証を不要とする取り扱い【担保充足型】

●資格要件：申込人または代表者等が所有する不動産の担保提供があり、保証金額の100%以上の保全が図られている場合

●対象となる保証制度：全ての保証制度（無担保要件の保証制度を除く）

金融機関の支援姿勢等を踏まえた経営者保証を不要とする取り扱い【特例型】

●資格要件：金融機関の支援姿勢等を踏まえて、経営者保証を不要とすることが適切かつ合理的であると当協会が認めた場合

●対象となる保証制度：兵庫県融資制度「新規開業貸付－経営者保証免除貸付」、ひょうご発展支援保証「リードα」（経営者保証不要プランを利用する場合）、「財務要件型無保証人・当座貸越根保証」、「事業承継特別保証制度」、「経営承継借換関連保証」など
※制度に関係なく、経営者保証を不要とすることが適切かつ合理的であると当協会が認めた場合も対象となります

上記は概要です。詳細については各事務所・支所にお問い合わせください。



タイムリミットから見たインボイス対応の総点検②

今年10月からのインボイス制度のスタートに向け、適格請求書発行事業者、免税事業者それぞれで対応策を進めておきましょう。

適格請求書発行事業者

取引先（仕入れ先）等に適格請求書発行事業者登録の有無を確認するとともに、自社は登録したことを伝えましょう。併せて、自社の請求書等に必要事項を記載できる環境を整えておきましょう。

基準期間（前々年または前々事業年度）の課税売上高が5,000万円以下で、簡易課税制度を選択している場合は課税売上高から納付消費税額を計算するため、インボイスの保存は仕入税額控除の要件となりません。

免税事業者

基準期間の課税売上高および特定期間の課税売上高が1,000万円以下の事業者は、原則として消費税の申告・納付が免除されます。

消費者に対しての売り上げよりも事業者に対しての売り上げが多い場合は、適格請求書発行事業者に登録するか検討しましょう。元請業者等とインボイス対応について話し合う必要性があります。取引先からの価格改定や取引の見直しが検討されることも視野に入れておきましょう。

【消費税の負担と納付の流れ】

※消費税と地方消費税を合わせた税率（10%）で計算。単位：円



【仕入税額控除とは】

消費税は、商品・製品の販売やサービス等の取引に対して課される税金で、消費者が負担し事業者を介して納付されます。その際、生産や流通等の各取引段階で二重三重に消費税が累積しないよう、仕入れに係る消費税額を控除する仕組みのことです。



豊かな 地域・緑をはぐくむ 〈あましん〉です



<https://www.amashin.co.jp>